

平成 22年度 事業計画

株式会社エフエム新津の平成 22年度事業計画を、下記の通りとする。

運営方針

内閣府発表の月例経済報告の基調判断は、景気は着実に持ち直してきているが、なお自律性は弱く、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。

先行きについては、当面雇用情勢に厳しさが残るものの、企業収益の改善が続く中で海外経済の改善や緊急経済対策の効果などを背景に、景気の持ち直し傾向が続く事が期待される。としている。報道では米主要企業の業績が08年9月のリーマンショック以前の水準を回復する勢いで急回復している。と伝えている。

上海万博開催での経済効果も期待される場所である。

そんな中、秋葉区役所と協働で設置した「緊急告知ラジオ」も3年間の事業を終了し1,000台を超える緊急告知ラジオが自治会・民生児童委員への貸与となり、毎月回訓練放送を実施し、有事の際に効率よく起動出来るよう準備をしている。

その功績が認められ、南区からも3年計画事業として緊急告知ラジオの導入の構築を依頼され、現在ラジオと機器の手配を始めたところである。

限られたエリアの限られたリスナーに対し、安全・安心情報を提供していく事が、コミュニティ放送の本分であると確信し、準備おこたり無く備えております。

有事の際に役立つには常聴リスナーの獲得。魅力ある放送役立つ放送を目指して日々邁進して参ります。

平成 22年度の課題

(1) 災害情報提供の有効利用と構築

* 秋葉区役所と協働で設置した「緊急告知ラジオ」が事業終了となった。

引き続き、起動実験を自治会・民生委員の協力で、毎月第3日曜日9時から放送初動伝達を有効利用出来るよう、訓練を重ねておく。

* 消防署からの「火災情報」が消防車出動と共に即刻報道できる体制が完備され、住民にも浸透してきている。

緊急割込放送を携帯電話から操作出来るシステムが完成したことから、より早く正確な情報が瞬時に伝達可能となった。誤報道に注意し活用する。

* 南区役所から「緊急告知ラジオ」の導入依頼あり。今後3年間の事業となる。

秋葉区の経験を踏まえ成功へ繋げたい。

* 阿賀野市から引き続き防災情報を踏まえた出稿を頂いているので、今後「緊急告知ラジオ」の導入を提案していく。

(2) ホームページの有効活用

* ホームページと連動した広告展開の拡大を引き続き行う

* 難聴エリア・エリア外聴取者対策としてホームページから音声ダウンロード拡充対応番組も増え反応も出て来ている事から、サイマル放送の検討と共に増強する。

(3) 商店街活性化イベントのサポートと営業展開

* 第4回を迎えた「にいつ食の陣」(6月)も、恒例化してきており、商工会議所を中心として、商店街も活気を見せ始めた。県外からの客も増え始めている。

「にいつハロウィン仮装まつり」等々市民中心の町興しも活発化してきているので地域住民と一体となった取組に参加することで更なる営業展開を強化する。

平成 22年度 収支予算書

(平成 22年 4月 1日 ~ 平成 23年 3月 31日)

消費税込み表示

科 目	H21年 予算額
事業収入	55,000,000
事業支出	52,754,627
営業費用	52,754,627
番組費	9,567,600
技術費	5,130,868
販売費	6,533,850
人件費	23,322,378
管理費	8,199,931
営業外費用	0
法人税	1,010,700
当期損益	1,234,673
累計損益	21,000,335

単位 :円